

令和4年度

# 研究成果 エキシビション

## "技術"アセットを有効活用した 今後の産学連携

令和4年

11/7 月 13:00  
↓  
17:00

開催  
場所

名古屋大学 東山キャンパス  
物質科学国際研究センター  
「野依記念学術交流館」

アクセスマップ

[https://www.ric.nagoya-u.ac.jp/  
42ndsite/images/access.pdf](https://www.ric.nagoya-u.ac.jp/42ndsite/images/access.pdf)



特別講演

- 01 | 岡田 康志 氏 (理化学研究所・東京大学)  
「基礎研究と製品開発のニーズとシーズ」
- 02 | 井手 剛 氏 (IBM T.J. Watson Research Center)  
「「裏」から眺めた人工知能ブーム ― 現在と近未来」

ポスター発表

本事業に参画している若手研究者(大学/企業)

本イベント参加には事前登録が必要です。

申し込み期限

令和4年10月31日(月)

申し込み先

[https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/  
exhibition2022/](https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/exhibition2022/)



お問い合わせ先 | T-GEX事務局(名古屋大学内) t-gex@adm.nagoya-u.ac.jp HP:<https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/>

世界的課題を解決する「開拓者」育成事業(T-GEx)では、「国」「事業」「分野」「文化」の壁を打ち破り、異なる領域の知と経験を縦横につなぎながら新たな課題に常に挑戦し、チームを牽引して世界的問題解決を実現する高度な知の「開拓者」を育成します。

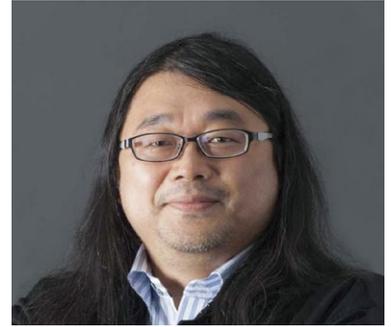
特別講演 01

13:10 - 14:00

## 基礎研究と製品開発のニーズとシーズ

岡田 康志氏 (理化学研究所・東京大学)

基礎研究成果というシーズが製品開発へと発展する "幸せな産学連携" はどのような条件で成立するのだろうか? 私たち自身の顕微鏡及び関連技術の開発での企業との共同研究・共同開発の経験を元に議論したい。



特別講演 02

14:00 - 14:50

## 「裏」から眺めた人工知能ブーム—— 現在と近未来

井手 剛氏 (IBM T.J. Watson Research Center)

言語、画像、音声の分野での深層学習のブレイクスルーをきっかけに、AI (artificial intelligence) が一般メディアの話題になるようになってしばらく経ちます。この講演では最初にAIの研究史を概観し、2022年において米国で見ている現実を共有します。深層学習は、何かの終わりの始まりなのでしょうか。応用の現場にいる我々にとってその意義は何でしょうか。一時期喧伝されたAI脅威論は、2022年の現在、どう捉えればいいのでしょうか。これらの問いに個人的所見を述べた後、AIによる実世界モデリングの例を産業応用の観点から紹介したいと思います。



ポスター発表

15:10 - 16:40

発表者名	所属	題目
東 直輝	名古屋大学	マイクロ流体デバイスを用いた大分子量DNAなどバイオ分子の高速分析
飯島 弘貴	名古屋大学	"Exercise as a Rejuvenative Medicine"を支えるサイエンスへの挑戦
市原 大輔	名古屋大学	宇宙ゴミ再突入に起因する大気汚染の評価
桑原 大介	中部大学	広周波数帯域をカバーするマイクロ波/ミリ波計測器開発と応用
新谷 正嶺	中部大学	心臓が体温で安定かつ効率的な心拍を刻む仕組みの解明と、溶液中で動く試料の電子顕微鏡ライブイメージング法の開発
田中 秀紀	中部大学	心の運動としての「遊ぶこと」
田村 秀希	豊橋技術科学大学	ヒト視覚系の質感認知とその計算モデル
近澤 未歩	名城大学	食事が抗体レパトアに及ぼす影響の解析と健康効果の検証
西川原 理仁	豊橋技術科学大学	多孔体・電気流体力学による先進輸送技術
萩尾 華子	名古屋大学	マハゼの脳内高次視覚回路の解明とウナギ仔魚の餌開発に向けた感覚器や脳形態の調査
服部 祐季	名古屋大学	免疫細胞マイクログリアが胎生期脳に定着するメカニズムの時空間的解析
平島 一輝	岐阜大学	新規の高活性呼吸鎖複合体I阻害剤ベタシンによる腫瘍増殖・転移阻害効果
町田 奈緒士	名古屋大学	発達障害とトランスジェンダーを共に生きることインタビューをもとに
宮武 広直	名古屋大学	観測的宇宙論における機械学習の応用
横井 暁	名古屋大学	EV解析による女性のトータルヘルスケア課題解決
Matthew Paul Su	名古屋大学	Elucidating the Aedes aegypti molecular circadian clock to develop new tools for mosquito control
高橋 一輝	デンソー	車載用燃料電池の作動温度向上を志向した配位高分子型電解質材料の開発
田中 秀典	豊田中央研究所	制限酵素を用いたゲノム再編成システムの開発とその応用に向けて
廣瀬 和雅	愛知電機	高圧配電線用無効電力補償装置(A2-STATCOM)
古田 芳一	北海道大学 (現:豊田中央研究所)	ザンビアで分離された多剤耐性腸内細菌科細菌および炭疽菌のゲノム解析
藪谷 顕一	デンソー	「主要情報記憶-細部制約付き探索」による軌道計画の高速化